内水試
かわら版 ㊳
1978.7.28

ワカサギの漁獲量を占う

当水試では今年も6月末から5回の試験びきを行いました。結果は次の表のとおりです。

昭和 ＼ 場所	霞ヶ浦	北浦
49年	204	107
50	96	618
51	54	904
52	109	2151
53	7	1960

操業1分当りの漁獲尾数

霞ヶ浦では昭和48年に次いでとれず、わずかに一操業当り二.七尾/分でした。解禁日の漁獲量も平均百kgぐらいで昨年の1/5と不漁でした。又、北浦では試験びきでは比較的多く二〇〇〇尾/分で昨年にひきつづき比較的豊漁ではないかと思われました。解禁日の漁獲量は35kgぐらいで昨年の86%。[illegible]くらべるとやゝ[illegible]るようです。霞ヶ浦も、そうですが北浦では特に下方よりも上方にワカサギが多いようで、漁獲量にむらがあるようです。

図1 試験びきの成績と漁獲量

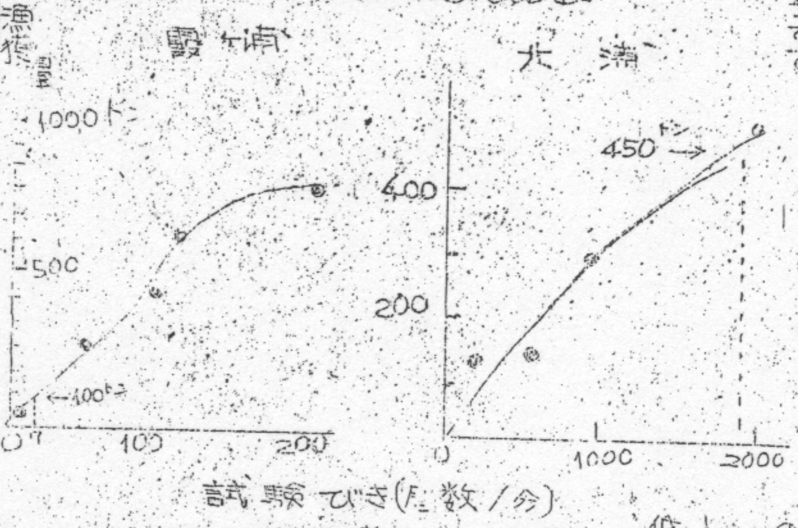
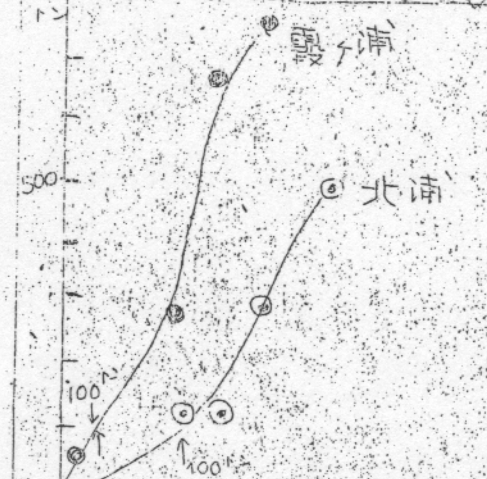


図2 解禁日漁獲量と漁獲量



以上の結果をまとめたものが図1、図2です。霞ヶ浦では、図1、図2とも今年は100トンしかとれないことになります。北浦では図1によれば四〇〇トンとなりますが、図2では100トンとなります。解禁日には北浦では80%の人が、[illegible]をひいています。したがって、実際には、解禁日漁獲量はやゝ低目の値となっているものと考えられます。そんなわけですから、試験びきの成績から求める方が適当でしょう。そうすると、霞ヶ浦100トン、北浦400トン、合計500トンが今年の漁獲量の予想となります。

茨内水試図